

|                | 2018.12短  | 2019.5短  | 2019.12短 | 2018.8論 | 2019.8論 |
|----------------|-----------|----------|----------|---------|---------|
| 財務会計の機能と制度     |           |          |          |         | 伝統      |
| 財務会計の基礎概念      |           |          |          |         | 伝統      |
| 「企業会計原則」の一般原則等 |           |          | 1 重要性    |         | 伝統      |
| 財務諸表の表示        | 11 横断     | 2 財規     | 5 負債     |         | 伝統      |
| 損益会計           | 9 収益      |          |          |         | 伝統      |
| 資産会計総論         |           |          |          |         | 伝統      |
| 棚卸資産           |           |          |          |         | 伝統      |
| 固定資産           |           | 3 概フレ等横断 |          | 4-4     | 伝統      |
| リース会計          | 15        |          | 14       | 3-1     | 個別      |
| 繰延資産           |           |          |          |         | 伝統      |
| 研究開発費等         |           | 17       |          |         | 個別      |
| 負債会計           |           |          |          |         | 伝統      |
| 純資産－総論         |           |          |          | 3-1     | 伝統      |
| 純資産－自己株式       |           |          |          |         | 伝統      |
| 純資産－その他の資本剰余金  |           |          |          |         | 伝統      |
| 財務会計の概念フレームワーク | 1         | 1        |          | 4-2     | 個別      |
| 会計上の変更及び誤謬の訂正  |           |          | 10       |         | 個別      |
| 金融商品会計         | 5 不動産流動化  |          | 12 ヘッジ   | 4-1     | 個別      |
| 連結会計           |           |          |          | 5-5     | 個別      |
| 持分法会計          |           |          |          | 5-2     | 個別      |
| 包括利益の表示        | 21        |          |          |         | 個別      |
| 関連当事者の開示       | 20        |          |          |         | 個別      |
| 外貨換算会計         |           |          |          |         | 個別      |
| ストック・オプション     | 13        | 13       |          | 4-1     | 個別      |
| 固定資産の減損        |           |          | 4 賃貸等    | 3-2     | 個別      |
| 棚卸資産の期末評価      | 3         |          |          |         | 個別      |
| 工事契約           |           |          |          |         | 個別      |
| 退職給付会計         |           | 16       |          |         | 個別      |
| 資産除去債務債務       |           |          |          | 4-3     | 個別      |
| 税効果会計          | 17        |          | 22       | 4-3     | 個別      |
| 企業結合           | 19 事業分離含む |          | 20       | 5-3     | 個別      |
| 事業分離等          |           |          |          | 5-4     | 個別      |
| キャッシュ・フロー計算書   |           |          |          | 3-2     | 個別      |
| 四半期財務諸表        |           | 20       | 19       |         | 個別      |
| セグメント情報        |           | 21       |          |         | 個別      |
| 1株当たり当期純利益     |           |          |          |         | 個別      |
| 収益認識           |           | 9        |          |         | 個別      |

## 財務会計 理論 の傾向と対策

### 直近出題実績は左表のとおり

- 短答は、伝統的な論点・個別会計基準 双方からまんべんなく出題。
- 論文は、個別会計基準が出題の中心

### 短答式試験でどんな感じ？

- 文章の内容が正しいか、間違いがあるかを判断する試験。
- もっと言えば、文章中の「明らかな間違い」を捜す試験

### 論文式試験でどんな感じ？

- 現行の会計処理が「なぜそう定められているか」理由を文章で説明する試験。  
(→「結論の背景」が問われます。)

### 具体的にどのように学習を進めると効率的か？

- きちんとした理解を前提に、最低限の暗記は、(残念ながら)必要
- 最低限とは、「概念セットが頭の引出からぱっと取出せる」水準

### 概念セットとか、いきなり言い出して、何それ

- 会計の説明で、「対立する幾つかの概念」と「その場面設定」の組合せ
- 例

「ファイナンス・リース取引」  
↑  
対立する概念  
↓  
「オペレーティング・リース取引」

(場面設定)リース会計基準適用の際のリース取引の分類

### 概念セットをまず押さえていく実益

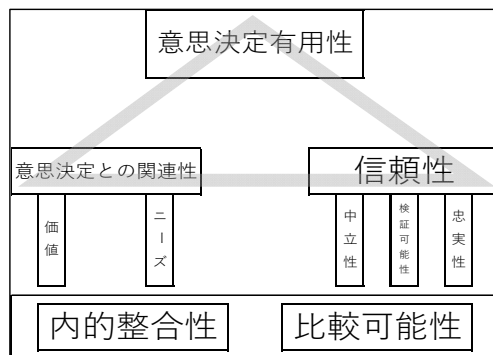
- 概念セットを明確に頭に定着できれば、これを手掛かりに、  
テキストの内容が頭に入りやすくなる。  
→結果、テキストの理解と暗記のスピードが上がる。  
→試験日までにより広範な知識を獲得できる  
→短答式の合格可能性を高めることができる。
- 何かを説明するとは、結局、複数の概念セットを関連付けること  
→概念セットの確かな知識を関連付ける練習を行い、精度を上げれば、  
→論部式の合格可能性を高めることができる。

## 財務会計の概念フレームワーク 全体像

## II.財務報告の目的 ②P30

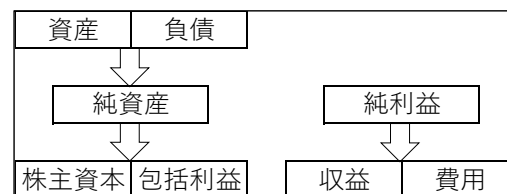
投資家による企業成果の予測と企業価値の評価に役立つような企業の財務状況を開示すること

## III.財務情報の質的特性 ②P32



構成要素に関する  
一般的な制約

## IV.財務諸表の構成要素 ②P36



## V.財務諸表における認識と測定 ②P45

認識に関する制約条件→「契機」と「蓋然性」  
資産負債 収益費用の 測定値の意味

読み方、理解の仕方のポイント

純利益と包括利益の定義の相違☆☆★★ ②P54

テキストの設例を見る前にまず下記の一番シンプルな例を確認。  
→財務計算で学んだ仕訳はまさに純利益を計算しようとしていることを  
実感してください。

|                                 | 純利益   | 包括利益  |
|---------------------------------|-------|-------|
| x1.4.1 その他有価証券としてT社株式を取得(1,000) | -     | -     |
| 投有 1000 預金 1000                 |       |       |
| x2.3.31 期末時価評価(1,100)           | -     | 100   |
| 投有 100 所有 100                   |       | 当期増減  |
| x2.4.1 期首振替                     |       |       |
| 所有 100 投有 100                   |       |       |
| x3.3.31 期末時価評価(1,300)           | -     | 200   |
| 投有 300 所有 300                   |       | 当期増減  |
| x3.4.1 期首振替                     |       |       |
| 所有 300 投有 300                   |       |       |
| x3.4.30 売却(1,400)               | 400   | 100   |
| 預金 1400 投有 1000                 | 累計増減中 | 当期増減  |
| 売却益 400                         | 当期に   | リスク開放 |

イメージが一番つきやすい箇所  
純利益と包括利益の関係を確認するのが最終目標

取得原価、とか、割引現在価値、とか、割引現在価値を計算する際の利子率、などの意味がここで明らかに。

情報提供機能 ①P4 です。  
→利害調整機能 ①P5 は?!  
→「副次的な利用」②P3

一番抽象度が高い箇所  
(悪く言えば言葉のお遊び感が高い)  
→この絵で概念同士の関係性をつかむことが重要。